

令和6年度（相模原中等教育学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	生徒・保護者の信頼に応える教育を目指し、教育公務員としての責任を自覚し、法令遵守意識の向上を図る。	i) 神奈川県職員行動指針に基づいて行動する。【○】 ii) 倫理に関する指針に基づいて行動する。【○】 iii) 啓発資料配付、注意喚起等により日常的に意識の向上を図る。【○】
セクハラ、わいせつ行為の防止	セクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	i) 職員に加え生徒に対しても、職員との適切な携帯電話・SNS等の使用に関する意識の啓発をする。【○】 ii) 風通しの良い職場づくりを推進し、日常的に職員同士がお互いに気付いたことを気兼ねなく指摘し合うことができる環境を作る。【○】 iii) 職員として、校務内外において、常に高い倫理観を持ち、自身の行動を律し、不祥事（わいせつ事案等）防止を徹底する。【○】
体罰、不適切指導、パワーハラスメントの防止	体罰・不適切指導・パワーハラスメントの発生を未然に防止する。	i) 職員啓発資料をもとに、体罰・不適切指導は行ってはならない行為であることの理解と意識を深める。【○】 ii) 部活動指導において、日常的に注意喚起を行い点検アンケート等実施し不祥事防止を図る。【○】
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理、進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故を未然に防止する。	i) 問題作成・採点・成績処理等の手順について確認するとともに、マニュアルに基づく点検の徹底を図る。【○】 ii) 進路関係書類の管理、発行に当たり複数の職員で確実な点検を行う。【○】
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報を適切に管理し、個人情報の流出を未然に防止する。	i) 情報セキュリティ点検を実施し、併せて、個人情報保護・情報セキュリティについての意識の向上を図る。【○】 ii) 個人情報収集許可及び校外持ち出し許可手続きの徹底を図る。更に、情報保管・破棄について再確認を行う。【○】
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転の防止、交通法規の遵守	交通事故の発生を未然に防止するとともに、酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。法令遵守を徹底する。	i) 過去の事例などの情報を提供し、交通事故の種類・原因についての認識を深める。【○】 ii) 飲酒の機会が増える時機には、職員全体に注意喚起を行い、飲酒運転のみならず交通法規の遵守の徹底を図る。【○】
会計事務（私費会計、現金管理）の適正執行	公費、私費の不適正処理を防止する。	i) 「私費会計事務処理の手引」に基づき、私費の適正な処理を行う。【○】 ii) 部活動費は各部ごとの通帳管理を徹底し、迅速かつ適正な処理を行う。【○】

入学者決定業務における事故防止	入学者決定業務における事故を未然に防止する。	i)「入学者決定業務要項」に基づいてシミュレーションを実施し、問題点の把握、担当者間での徹底した共通理解を図る。【○】 ii)採点・点検業務を事故なく遂行できる体制を整備し、マニュアルに従って点検・確認を実施する。【○】
-----------------	------------------------	---

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

- ・不祥事ゼロプログラムの年間計画に従い、定期的に不祥事防止会議及び不祥事防止研修会を実施するとともに、朝の打合せにおいて教職員への啓発を行い、意識の向上を図ることができた。
- ・不適切指導においては、生徒に傾聴することを前提とし、心に寄り添う指導の徹底を図り、一定の成果が得られた。また、今年度も同僚性の醸成を向上させる研修会を年度当初に実施し、非常に効果的であると感じた。次年度に向けて、粘り強く教職員を指導するとともに、同僚性を更に向上させ、教職員相互の声掛けの徹底を図りたい。
- ・令和7年度も継続して重点目標を「個人情報等の管理、情報セキュリティ対策」とし、重点目標を「セクハラ、わいせつ行為の防止」「体罰、不適切指導、パワーハラスメントの防止」、「会計事務（私費会計、現金管理）の適正執行」「入学者決定業務における事故防止」とする。不祥事ゼロを実現すべく、教職員一丸となって不祥事防止に係る取組みを実践していきたい。